



熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和5年9月号



川尻校区8町内 木部川

6月、川尻校区自治協議会より相談がありました。川尻校区8町内は木部川が流れ、日常的に河川沿いの道路を地域住民の皆さんが利用されています。ところが転落を防止する柵がないことから、たびたび事故が発生していました。そこは水深も深く通行人が転落すると、大きな事故に繋がりがかねません。そこで住民が安心安全に通行できるように転落防止のための柵が設置できないかとのことでした。



転落防止柵設置

6月28日、自治協議会の皆さんと直接現地で事情を聞き確認しましたが、ロープが簡易的に張ってあり心もとない状況でした。そこで関係機関に再度地域の窮状を訴え、『妙案』が無いかが依頼しました。すると後日、転落を防止する提案を示していただき、それは自治協議会の皆さんも納得できる「名案」でした。
7月末、ご覧のようにガードレールが設置され、住民の皆さんの不安も払拭されたのでした。これで地域の皆さんも安心して通行できることでしょう。

れいすい杯

ミニバレーボール大会 開催いたします！



10月29日、「第17回れいすい杯ミニバレーボール大会」を4年振りに城南スポーツセンターで開催いたします。詳しくはホームページをご覧ください！



田崎市場 東大通り交差点改良

4月、田崎市場内の企業から相談がありました。ご覧のように【写真①】改良前、市場から熊本高森線と交わる東大通りには2本の白線が引かれていましたが、次のような事例が発生していました。

【熊本高森線から市場へ入場する場合】
侵入区分が表示されていないので、高森線から右折もしくは左折する車両が2本ある白線のどちらが中央線かわからずに進入している。
【市場から熊本高森線に出る場合】
既設の白線が中央線かどうか分からないために、市場の道路事情に不案内の方々はそれぞれの感覚で信号停車し右左折している。

前述のような指摘があり、分かりやすい改良を求める声をいただきました。確かに私自身もこれまで再三利用していましたが、正直、正しい通行が分かっていませんでした。
今回、地権者の方々のご理解、複数の関係機関のご協力で8月2日、ご覧のように【写真②】通路区分が明確になりました。改めてご尽力いただいた皆さんに深謝申し上げます。



夏祭り



7月末から8月にかけて地域・校区・福祉施設で再開された夏祭りのご案内をいただきました。コロナも5類に移行して私たちの日常生活も少しずつ元に戻りつつあります。

会場が小学校の運動場や町内の公園だったり、規模も参加人数もそれぞれ特徴があり伝統を感じます。中には来場者が千人を超えるものもあり、魅力ある様々な出店、工夫を凝らしたプログラム、スタッフの皆さんの熱量が集客に繋がっているように思えます。

オーブニング『おじゃる丸』の歌に合わせて輪に加わって踊りつつ、お子さんたちの笑顔や賑わう光景を見ながら、4年ぶりの暑い夏を実感したのでした。一方で台風6号の影響で中止を余儀なくされたお祭りもありました。

猛暑の中、お祭りを企画、準備、運営していただいた関係各位に敬意と感謝を申し上げます。

